

日本企業の女性活用推進のために

リサーチの背景

2015年より女性活躍推進法が施行され、女性が持続的に働くことができる環境づくりが急務となっています。しかし、意識の面では進んでいても制度や仕組みが追いついていない現状があります。家庭をもちながら働くひとりの女性として、日本における女性の社会進出について考察します。

作成者: M. T.

レポートに関する
お問い合わせ:
03-5542-5300
info@sfinter.com

世界における日本の女性役員比率



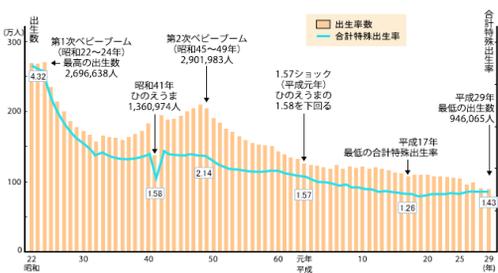
(出典: FUJITSU JOURNAL, 2017年)

なぜ企業の女性活躍が進まないのか

日本の女性は、世界と比べて大学進学率も高く優秀といわれています。しかし、企業における女性役員の比率はわずか1.1% (左図参照)。日本で女性活躍が進まないのは、女性ならではのライフイベントである出産と子育てが大きな原因となっています。

出産を経ても社会で活躍するためには、働く女性自身が「出産前マネジメント」で出産後のキャリアを事前に描き、復職が容易になるように周囲からの『信頼貯金』の残高を増やしておくことが重要です。一方で企業側は、復帰後の社員を無理せず安心して十分に能力を発揮できる環境を整える必要があります。

出生率平均の推移



(出典: 公益財団法人生命保険文化センター, 2017年)

少子化がさらに加速

いまや、日本の出生数平均は「1.43人」に落ち込んでいます (左図参照)。実際に、夫婦の出産意識調査によれば、2人目以上の出産をためらう「第2子の壁」の存在を感じている人々が増えています。働く母親に限定すると「仕事上の理由」が2位であり、働き方をめぐる事情が深く絡んでいます。

単に働く時間を短くするだけでは、子どもをもつ女性の働き方は改善されず、少子化問題も解決しません。働く夫婦の育児支援には、上司や職場全体の理解や心遣い、そして育休取得や職場復帰を促す会社の制度が必須です。職場全体での女性活躍推進が、少子化の抑制には求められています。

女性の働き方改善は社会を変える

少子化は働き手の減少をもたらす、経済活動・社会保障に支障をきたします。そのため、政府や企業は、少子化と関連の深い「女性の働き方」に対して積極的に対策を打つ必要があります。言い換えれば、女性が働き続けやすい環境づくりと女性活躍推進は、日本社会と経済をよりよくするためのカギになります。女性活躍推進は女性だけの課題だけではなく、政府・企業を含めた社会全体の課題なのです。

参考情報

子どもをもつ女性の就業率は依然低水準

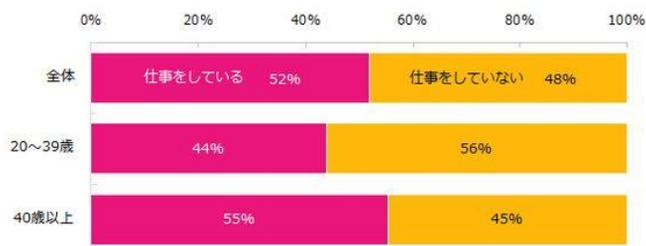
経済協力開発機構が発表した「雇用アウトLOOK2015」によると、25歳～54歳の日本女性の就業率は71.8%といわれています。しかし、2015年にエン・ジャパンが子どもを持つ女性639名を対象に仕事についてアンケートを実施したところ、**就業率は52%、正社員比率は8%**に留まることがわかりました。それぞれ集計方法などは異なりますが、女性全体の数字と子どもを持つ女性の就業率のギャップは、約20ポイントにおよびます。女性の就業率はOECD加盟34カ国中24位で依然として低水準で、**特に出産を機に退職するケースが多い**ことが課題視されています。

子どもを持つ女性が働いていない理由の第1位は「自分に合う仕事が見つからない」ことで、望んでいる働き方は7割の方が「家事や育児などプライベートと両立できる程度で働きたい」と回答しました。家事や育児のために仕事の制約がある女性が働くには、「自宅から近い職場」や「残業なし」、「時短勤務」など、制約条件に「合う」仕事を提供していくことが必要と言えそうです。

(出典: HUFFPOST,「子どもを持つ女性の就業率は52% 正社員率はたったの〇%【なぜ?】」)

子どもを持つ女性の就業状況アンケート

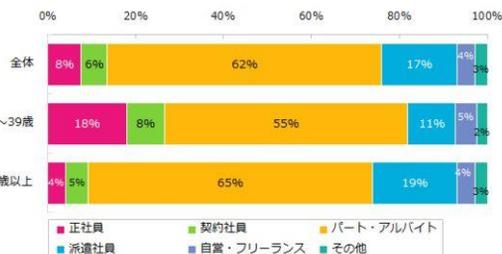
Q. あなたは今、お仕事をしていますか？



A. (全体)

仕事をしている **52%**
仕事をしていない **48%**

Q. お仕事をしている雇用形態は何ですか？



A. (全体)

パート・アルバイト **62%**
派遣社員 **17%** etc.

(出典: エン・ジャパン, 2015年調査アンケート)

参照・引用資料

- HUFFPOST,「子どもを持つ女性の就業率は52% 正社員率はたったの〇%【なぜ?】」
(https://www.huffingtonpost.jp/enjapan/story_b_7923820.html)
- FUJITSU JOURNAL,「進まない日本企業の女性活用、実践から語る3つの問題点と解決策」
(<https://blog.global.fujitsu.com/jp/2017-11-21/01>)
- 公益財団法人生命保険文化センター,「女性は一生で何人の子どもの産む?」
(<https://www.jili.or.jp/lifeplan/lifeevent/birth/2.html>)

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。